

HPV検査ってなあに？

(ヒトパピローマウイルス)



「自分には関係ない・・・」と思いませんか？
あなたにも感染リスクがあるのです。

★HPVとは

HPVとはヒトパピローマウイルスの略で「子宮頸がん」の原因とされるウィルスのことです。HPVは主に性交渉によって感染し、性交渉経験がある約80%の女性が一度は感染するといわれている、ごくありふれたウィルスです。

★HPV検査とは

子宮頸がんの原因と言われているハイリスク型ヒトパピローマウイルスの感染を調べる検査です。がんになっていなくてもHPVに感染していることがわかれば、将来病変が進行したり、子宮頸がんになるかもしれないという予測が可能になります。

(ハイリスク型HPVに感染していても必ず子宮頸がんになるわけではありません。)

★子宮頸がんは

子宮頸がんはHPVに感染してから数年かけてゆっくり子宮頸がんへと進んでいきますが、必ずしも子宮頸がんに発展するわけではありません。HPVに感染してもほとんどの場合は、自己免疫力によって消失されます。約10%の人では感染が持続し、自然治癒しない一部の人は前がん病変を経て、子宮頸がんへ進行します。そのため子宮頸がん予防のためには定期的な検診がとても重要になってきます。

HPV感染から5～10年以上かけて、一部ががんへと移行します。



今年度より
実施！

HPV検査

HPV感染の有無を調べます。
採取した細胞の中のHPV存在を直接調べるため精度が高い検査です。

HPV検査：
がんになる原因のHPVに感染しているかどうか分かる！

細胞診

子宮腔・頸部の細胞を顕微鏡で調べます。
がん細胞や異型細胞(前がん状態)の段階を見つけます。

細胞診：
前がん状態・がんを見つける！

★HPV検査で陽性だったら

HPV検査で「陽性」だった場合、まずは医師による子宮頸がん検診(細胞診)を受けてください。その結果が「異常なし」であれば、HPV検査が陽性であっても驚くことはありません。HPV検査で陽性の結果を受け、不安になる方がいらっしゃいますが、90%が自己免疫により自然消滅します。多くは一過性の感染ですが、気づかないうちに「前がん病変」や「がん」に進行しないように、HPV検査で陰性を確認するまで一定の間隔で医師による経過観察を続ける必要があります。